

COOL & HOT

温冷風扇 AW-CH153

取扱説明書

この度は本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

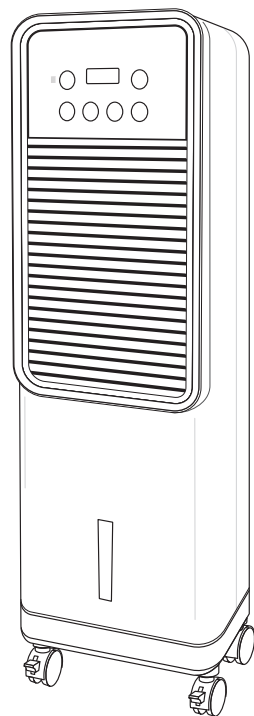
- 本書をよくお読みいただき、正しくご活用ください。
- お使いになる前に「安全上の注意」を必ずご一読ください。
- 本書はいつでも取り出せる場所に、大切に保管してください。
- 保証書は「お買い上げ日・店名」の記入を確認し、販売店からお受け取りください。

- 本製品はエアコンやクーラーと異なり、空間全体の温度を下げるものではありません。水の気化熱を利用するため、密閉空間では湿度が上昇しやすくなります。窓を開けて換気を行うか、エアコンと併用して効率的な冷房補助にお役立てください。
- 気化熱による冷却方式のため、周囲の温度や湿度の変化で冷え方に差が生じます。特に高湿度下では水の蒸発が妨げられ、十分な冷風が得られない場合があります。

本製品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

※製品の仕様や詳細は改良の為、予告なく変更される場合があります。
※写真・イラストはイメージです。

MADE IN CHINA



安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
人への危害や財産への損害を未然に防ぐため、必ず守っていただく事項を説明しています。

表示の説明



危険

誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負うおそれが高い、差し迫った危険がある内容を示しています。



注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害※の発生が想定される内容を示しています。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットに関わる拡大損害を指します。

図記号の説明



● 記号は強制(必ず守ること)を示します。
(左図は“必ず守る”)



⊘ の記号は禁止(してはいけないこと)を示します。(左図は“禁止”)

危険

改造、分解、修理をしない



分解、修理、改造は絶対にしないでください。火災・感電・けがの原因になります。

電源プラグ・コードを破損させる使い方をしない



次のような電源プラグ・コードの破損を招く行為はしないでください。
(例：ねじる／引っ張る／無理に曲げる／束ねる／加工する／重い物をのせる／挟み込む／傷つける)
火災・感電の原因になります。

電源プラグやコードが傷んでいるときは、絶対に使用しないでください。
感電・ショート・発火のおそれがあります。

電源プラグやコードが傷んでいるときは使用しない。
火災・感電の原因になります。

濡れた手で電源プラグや操作部に触れない
感電・けがの原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込み、不完全な差し込みをしない。
感電・発熱による火災の原因になります。

源プラグやコンセント周りのほこりを放置しない。
絶縁不良による火災の原因になります。

※お手入れの際は、必ず電源プラグを抜いてから、定期的乾いた布でほこりを取り除いてください。

期間使用しないときは、電源プラグをコンセントに差したままにしない。
絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

異常などがあるときは使用しない



異常(変形、異常な発熱、発煙、異音、異臭、落下による破損など)そのまま使用を続けると、火災・感電の原因になります。※異常を感じた場合は、直ちに電源プラグを抜いて使用を中止してください。

AC100V 15A単独使用以外では使用しない



発熱による火災・接続機器を損傷させる原因になります。※延長コードやたこ足配線は使用しないでください。

就寝中に温風を使用しない



低温やけどの原因になります。

お手入れ時以外は吹出口に触れない



故障・破損・火災の原因になります。※お手入れ前には必ず電源を切り、電源プラグを抜いてください。

差し込みがゆるいコンセントは使用しない



感電・発火の原因になります。

金属物や異物を本体内部に入れない



機器内部のショート・発熱により、火災・感電の原因になります。

吹出口に物を入れたり、置いたりしない



故障・破損・火災の原因になります。


長時間、身体と同じ箇所をあたためない



低温やけどの原因になります。




※乳幼児、お年寄り、病気の方、皮膚感覚の弱い方、操作が困難な方、深酒をされた方、疲労の激しい方、眠気を誘う薬(睡眠薬・かぜ薬など)を服用された方は特に注意してください。

安全上のご注意 つづき


-  **小さなお子様だけで使用させない**
思わぬ事故・低温やけどの原因になります。
※必ず保護者の目の届く場所で使用してください。
- 水をかけたり、濡らしたりしない**
内部機器のショート・発熱により、火災・感電の原因になります。※本製品は防水仕様ではありません。浴室やプール周辺など水がかかる場所や高温・多湿な場所で使用したり、濡れた手で操作したりしないでください。
- 給水タンクに水道水以外(お湯、化学薬品など)を入れない**
事故・故障の原因になります。
※必ず水道水を使用してください。
- 殺虫剤、整髪料、潤滑油などのスプレーを本体に吹きかけない**
故障・火災の原因になります。※可燃性ガスを含むスプレーの使用は避けてください。
- 灯油、ガソリン、シンナーなど引火性物や可燃物のそばで使用しない**
火災・爆発の原因になります。
- スプレー缶を本体の近くに置かない。**
爆発の原因になります。※高温部・吹出口付近に置かないでください。
- 火気や高温の物に近づけない**
本体の変形によるショート・発火の原因になります。
- 本体をタオルや衣類で覆ったり、衣類の乾燥用として使用したりしない**
過熱により火災の原因になります。
- フィルターを取り付けないまま運転しない**
故障・水漏れ・火災の原因になります。※運転前に正しく取り付けられているか確認してください。内部にほこりが入ると異常発熱・発火の原因になります。

⚠️ 注意


設置時・設置場所のご注意

-  不安定な場所に設置しない。
落下・転倒によるけがの原因になります。
※水平で安定した場所に設置してください。
-  高温になる場所に設置・使用しない。
変形・変色・火災の原因になります。※直射日光が当たる場所、暖房機器の前、車内など高温になる場所を避けてください。
-  粉塵・油煙・湯気の出る場所、湿気やほこりの多い場所に設置しない
付着した油・水分・ほこりを通じて電気が流れ、火災・感電の原因になります。
※台所のコンロ周辺や加湿器の直近を避けてください。分・ほこりを通じて電気が流れ、火災や感電の原因となります。

使用中・使用直後は熱い部分に触れない

-  やけどの原因になります。
※吹出口やその周辺に触れないでください。

燃えやすい物の近くで使用しない

-  ※カーテン、壁、家具、熱に弱い床材(ビニールクロス等)から離して設置してください。

キャスターのストッパー機能

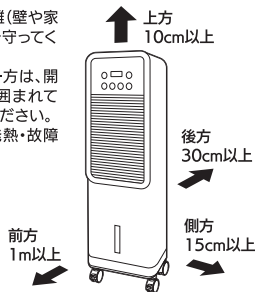
- 設置時は、必ずキャスターのストッパーで固定してください。
- 傾斜した場所への設置は避けてください。不意の移動により破損・けがの原因になります。
※水平で安定した場所に設置してください。



ストッパーを下げると固定され、上げると解除

設置距離

- 設置時は、図に示す距離(壁や家具などから離す距離)を守ってください。
- 本体の左右どちらか一方は、開放された側(壁などに囲まれない側)を確保してください。
※吸排気不足は異常発熱・故障の原因になります。



安全上のご注意 つづき

本体を逆さまにしたり、倒したり、強い衝撃を与えたりしない
水漏れ・故障・感電の原因になります。※移動時や清掃時に落下させないように注意してください。

本体を移動させるときは持ち手以外を持たない
破損・けがの原因になります。※必ず持ち手を持って移動してください。

給水タンクに水が入った状態で移動させない
落下・水漏れ・故障の原因になります。

風を長時間、身体に当てない
体調不良など健康を害する原因になります。※乳幼児、お年寄り、病気の方は特に注意してください。

電源プラグを差したまま本体を移動しない
火災・感電・けが・床面損傷の原因になります。※移動前に電源プラグをコンセントから抜き、本体を引きずらずに持ち上げて、コードに足を引っかけないようにしてください。

吸気口にほこり・糸くず・髪の毛などを吸い込ませない
モーターの破損や故障の原因となります。

直射日光で高温になる場所に放置しない
モーターの異常発熱や故障の原因になります。

リモコンを濡らしたり、落としたり、踏んだりしない
故障・破損の原因になります。※使用後は安全な場所に保管してください。

本体周辺に電気製品・時計・パソコンなどの精密機器を置かない
故障・誤作動の原因になります。※磁気・熱・湿気の影響を避けるため距離を確保してください。

倒した状態で使用しない
水漏れ・故障の原因になります。※必ず水平で安定した状態で使用してください。

ペット用として使用しない
コードの破損などにより火災・感電・故障の原因になります。※ペットや小児の手の届かない場所で使用してください。

停電時にコンセントへ電源プラグを差したままにしない
復電時に急激な電圧変動などにより故障・火災の原因になります。※停電時は電源プラグを抜いてください。

乾燥や特殊用途に使用しない
食品・精密機器・美術品の保存や、動植物の飼育・栽培などの用途に使用すると、変質・健康被害の原因になります。

テレビ・ラジオ・ビデオ・コードレス電話・エアコンなどの機器の近くで使用しない
干渉・電波障害(画面のちらつきや雑音)などの原因になります。※周辺機器から1m以上離して設置してください。

本体の上に物を置いたり、乗ったり、寄りかかったりしない
故障・けが・水漏れの原因になります。

転倒オフスイッチ

⚠ 注意

傾いた状態では転倒オフスイッチが作動して電源が入りません。

誤作動防止・安全確保のための機能です。

■「転倒オフスイッチ」が作動時の復帰手順
※本体を水平な場所に設置し直し、電源プラグをコンセントの根元まで確実に差し込んでから、電源ボタンを押して運転を再開してください。
※停電後に通電が再開したときも、電源ボタンを押して電源を入れ直してください。
※給水タンクに水が入った状態で転倒した場合は、使用を中止してください。取扱説明書の手順に従って安全に排水してください。



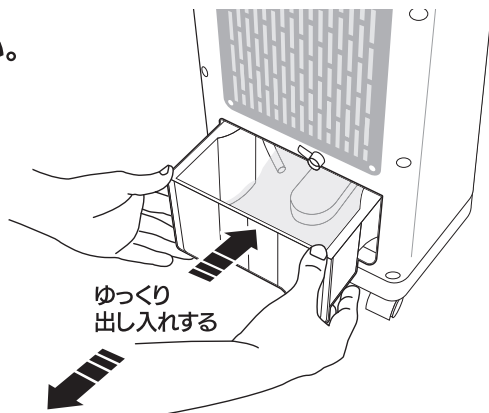
安全上のご注意 つづき

⚠ 水の入った給水タンク開閉時のご注意

給水タンクを引き出すときは、
P7「給水タンクの外し方」を参考に、ゆっくり行ってください。

給水するときは、
P8「給水タンクに水を入れる」の方法で行ってください。

排水やお手入れなどで給水タンクを外すときは、
水量を3分の1以下にして、
ゆっくり引き出してください。

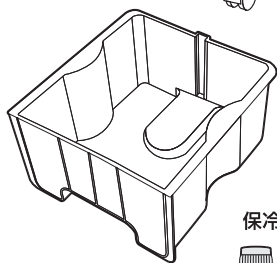
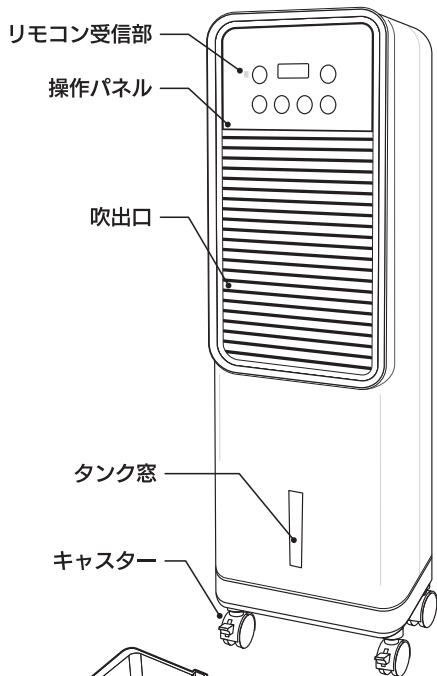


お願い

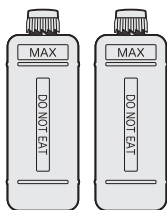
吸い上げポンプに残った水が垂れて床を濡らす場合があります。
事前にタオルなどをご用意ください。

各部のなまえ

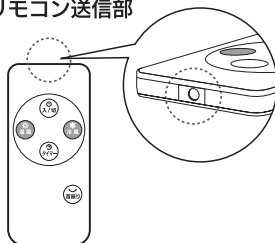
本体前面



保冷剤タンク

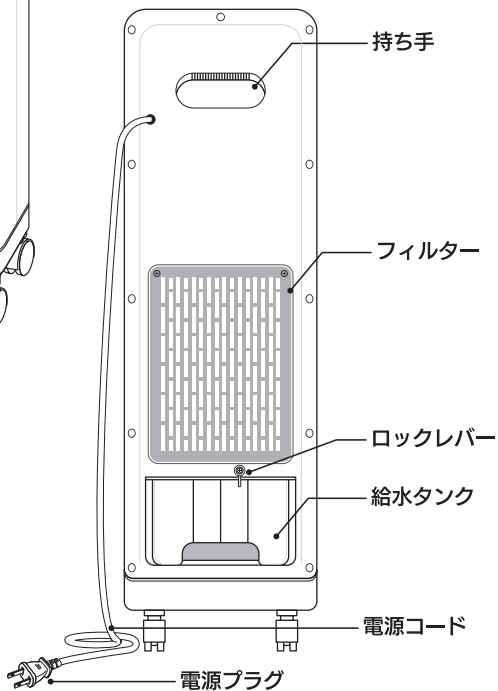


リモコン送信部



リモコン

本体背面



ご使用の前に

キャスターを取り付ける

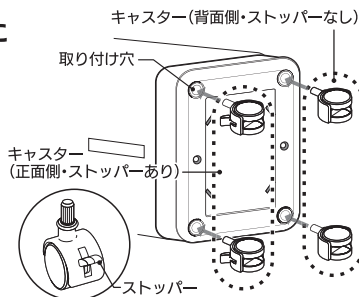


必ず電源プラグをコンセントから抜いて作業してください。
感電・けがの原因になります。



必ずキャスターを取り付けてください。
取り付けないで使用すると
本体が不安定になって転倒したり、
床を傷つけるおそれがあります。

- 1 床や本体が傷つかないように毛布などの上に本体をゆっくり倒し寝かせます。
- 2 本体底面の取り付け穴にキャスターを確実に押し込んでください。
 - ・真っ直ぐキャスターを押し込んでください。
無理な角度で押し込むと、取り付け穴が破損するおそれがあります。
 - ・ストッパー付きのキャスター2個を正面側に取り付けてください。
- 3 本体を起こし、
水平で安定した場所に設置してください。



リモコンについて

出荷時はボタン電池がセットされています。
ご使用前に絶縁ラベルを引き抜いてから
使用してください。

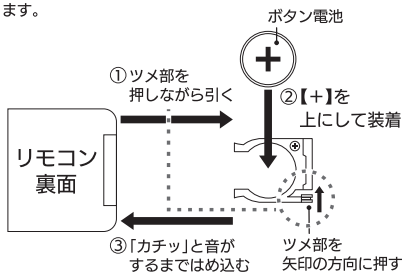
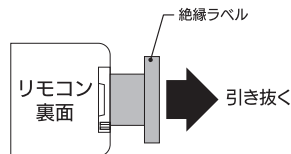
※挿入しているボタン電池はテスト用のため、早く消耗する場合があります。

■ ボタン電池の交換方法

使用電池は CR2032/3V です。

- ① リモコン裏面の電池カバーのツメを矢印方向に押しながら、カバーを引き出してください。
- ② 新しいボタン電池を、「+」面を上にして正しくセットしてください。
- ③ 電池カバーを「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

【注意】電池は逆向きに入れしないでください。過熱・漏液の原因になります。小さなお子様の手の届かない場所に保管してください。



■ 操作範囲

操作できる距離の目安は約3mです。

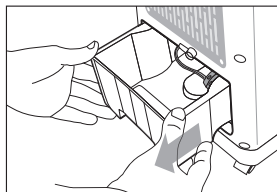
蛍光灯・直射日光・障害物の影響で到達距離が短くなる場合があります。

まれに他の機器のリモコン信号に反応して作動することがあります(同一周波数帯の影響)。

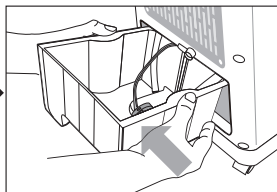
安定して操作できない場合は、他の機器のリモコンや本体に影響しない場所へ移動してから使用してください。

給水タンクの外し方・取り付け方

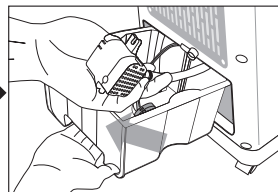
■ 給水タンクの外し方



ロックレバーを回転させて解除し、給水タンクを手前にゆっくり引き出します。



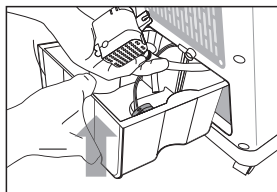
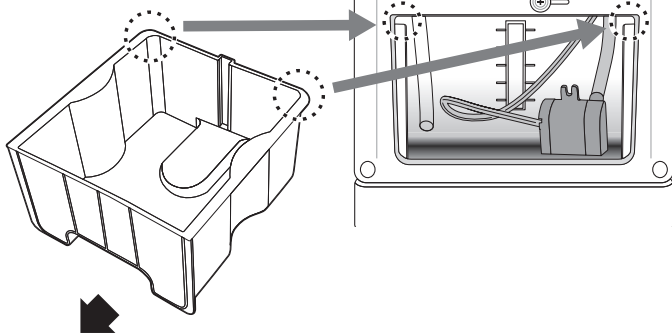
手前側を持ち上げて傾け、さらに引き出します。



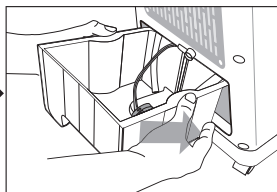
給水ポンプを持ち上げながら給水タンクを外します。

■ 給水タンクの取り付け方

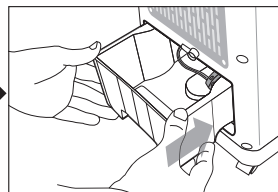
左右の透明なゴムチューブがタンクの中に入るように押し上げ、給水タンクの角部分を本体のツメに合わせ入れます。



給水ポンプを持ち上げ手前側を持ち上げて傾け、ゆっくり押し込みます。



給水タンクをゆっくり押し入れます。



給水タンクを奥までゆっくり押し入れ、ロックレバーを回転させてロックします。

給水タンクに水を入れる(冷風モードとして使用するとき)

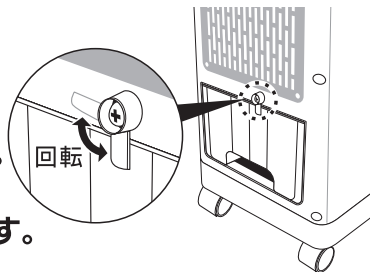
⚠ 給水タンク開閉時のご注意

以下の手順を守って給水タンクを引き出してください。

① 電源を切る。



② ロックレバーを回転させ
給水タンクのロックを解除します。



③ ゆっくり給水タンクを引き出します。



④ 図のように別容器で
ゆっくり水を入れてください。

給水後に保冷剤タンクを入れると、水位が上がって水があふれる場合があります。
保冷剤タンクを入れてから給水してください。

※新鮮な水道水を使用してください。

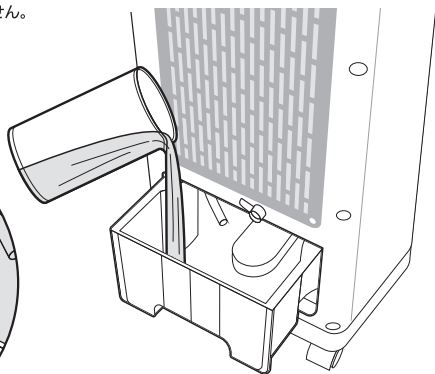
※給水タンクの水がなくなっても吸い上げ動作は止まりません。

水の残量を確認し、こまめに水道水を補給してください。

※水を入れたまま 24時間以上放置しないでください。

におい・水あか・カビ発生の原因になります。

新しい水に入れ替えて清潔に使用してください。



給水は上限より
2cm下までにする



危険 給水時は必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。

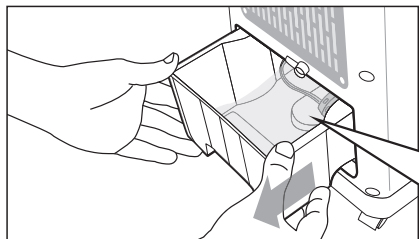
排水について

⚠ 危険 排水時は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

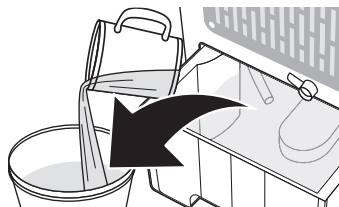
- ① ロックレバーを回転させて解除し、給水タンクを手前にゆっくり引き出します。**

※入っている水をこぼさないよう、ゆっくり作業してください。

※給水タンクの水が多い状態で無理に引き出すと、水があふれ出て床を濡らすおそれがあります。

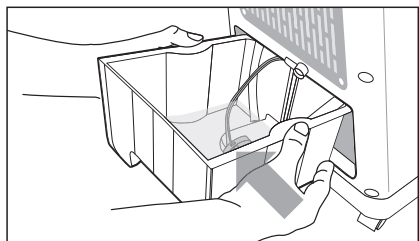


給水タンクの水が多い場合は
コップなどで給水タンクの
水量を3分の1以下に
してください。



- ② 手前側を持ち上げて傾け、ゆっくり給水タンクを取り外して排水します。**

※稼働中に内部を循環していた水を抜くため、しばらく置きます。



- ③ P7の「給水タンクの取り付け方」の手順で給水タンクを取り付けます。**

給水タンクの取り外し、取り付け方は
P7の「給水タンクの外し方・取り付け方」を参照してください。

保冷剤タンクについて

さらに冷たい風を冷風運転で出したい場合にご使用ください。

保冷剤使用時は本体に結露が生じ、床を濡らすおそれがあります。
周囲の状況を確認し、注意してご使用ください。

※ご使用の際はトレイ等の水受けを敷いてお使いになることをおすすめします。(トレイは製品に付属しておりません。)

- 1 保冷剤タンクの給水線まで水を入れ、
キャップを固く締めてから、
中の粉末(冷却剤)が混ざるように
10回程度振ってください。
その後、冷凍室で凍らせてからご使用ください。

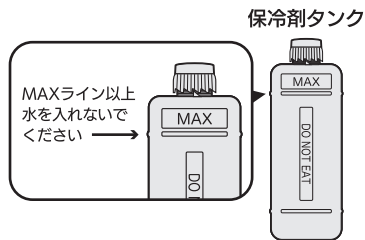
※繰り返し凍らせてご使用できます。

※ご使用時の保冷持続時間は約6時間です。

ご使用状況により保冷時間は異なります。

保冷剤タンク内の粉末(冷却剤)を捨てないでください。
給水線以上に給水しないでください。

△粉末(冷却剤)の膨張により破損するおそれがあります。

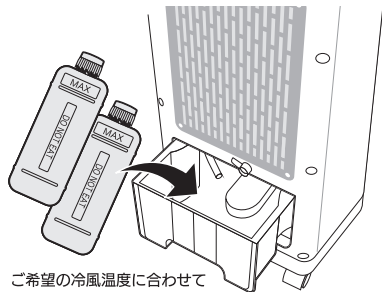


- 2 保冷剤タンクは冷凍室で、
約6～8時間を目安に凍らせてください。

△破損のおそれがあるため、
業務用など-20度以下の冷凍室では凍らせないでください。

保冷剤タンクは、立てた状態で冷凍室に入れてください。

△倒した状態で凍らせると、保冷剤タンクの中身が
漏れるおそれがあります。



ご希望の冷風温度に合わせて
保冷剤タンクを1個または2個
ご使用ください。

- 3 凍らせた保冷剤タンクを給水タンクに
設置した後、給水してください。

保冷剤タンクを入れる前に給水すると、
水位が上昇して水が溢れる場合がありますので、
必ず保冷剤タンクを入れてから給水してください。

⚠ 注意

保冷剤を使用すると、温度差により本体底部に結露が生じる場合があります。

その際は、乾いた布などでこまめに拭き取ってください。

保冷剤タンクには粉末(冷却剤)が入っています。

- 粉末(冷却剤)が皮膚に付着した際は、直ちに石鹸と水で洗い流してください。
- 誤って飲み込んだ場合は、速やかに医師の診断を受けてください。
- 粉末(冷却剤)が目に入らないよう注意し、万が入った場合は直ちに水で洗い流し、眼科医の診察を受けてください。
- 粉末(冷却剤)を吸引しないようご注意ください。
- 長期間使用されない場合は、キャップを固く締めて、直射日光や湿気を避けた場所で保管してください。

使いかた

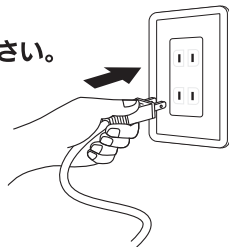
電源を入れる

電源プラグをコンセントの根元まで確実に差し込んでください。

※必ず本体を安定した水平な場所に置き、電源プラグを差し込んでください。

水平でないと正常に作動せず、ライトも点灯しません。

※転倒や引っかけ事故を防ぐため、本体は通行の妨げにならない場所へ設置してください。

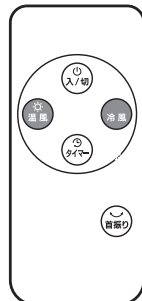
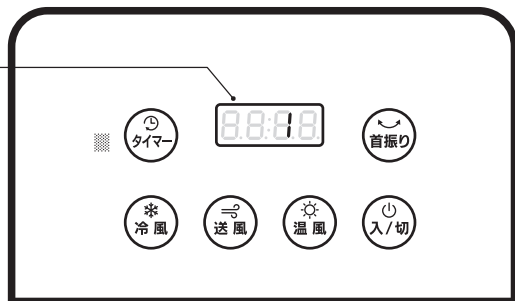


操作パネルとリモコン

[本体操作パネル]

[リモコン]

液晶表示



■ 操作ボタンの使いかた

電源入/切ボタン

『電源入/切ボタン』を押すと液晶表示に『ON』と表示されます。



[操作パネル]



[リモコン]



※送風・冷風・温風のいずれかのボタンを押すと運転を開始します。

※温風使用時に電源を切ると、約30秒間の送風運転後に自動停止します。

この間は、誤作動を防ぐため「電源入/切」ボタンに触れないでください。

使いかた つづき

送風ボタン

[操作パネル]

[リモコン]

ボタンを押すごとに、風量設定が
1(弱)→2(中)→3(強)の順に切り替わります。



本体タッチパネルで
操作をお願い致します。

冷風ボタン

[操作パネル]

[リモコン]

給水タンクの水を吸い上げて冷風運転を行います。
ボタンを押すごとに風量設定が
1(弱)→2(中)→3(強)の順に切り替わります。



※水が不足していると冷風になりません。給水を確認してください。
※保冷剤タンクを併用すると、より冷たい風になります。

温風ボタン

※給水タンクに水が入っていない状態で
ご使用ください。

[操作パネル]

[リモコン]

ボタンを押すごとに、風量設定が
1(弱)→2(中)→3(強)の順に切り替わります。



※温風運転を停止すると、内部保護(冷却)のため約30秒間送風が続き、その後自動停止します。
この間は誤作動を防ぐため、電源入/切にボタンに触れないでください。
※転倒オフスイッチが作動した場合も約30秒間送風になります。

使いかた つづき

首振りボタン

ボタンを押すと、左右約35度の範囲で首振り運転を行います。もう一度押すと、その位置で停止します。

※首振り中にボタンを押すと、お好みの角度で固定することもできます。

[操作パネル]



[リモコン]



タイマーボタン

タイマーの設定(切タイマーのみ)

ボタンを押すごとに30分単位で、最大12時間までタイマーを設定できます。設定時間が点滅した後に風量が表示され、タイマーボタンが点灯すれば設定完了です。

[操作パネル]

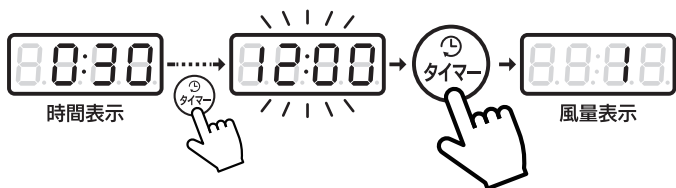


[リモコン]



タイマーの解除

タイマーボタンを『12:00』まで押し、設定時間が点滅している状態でもう一度ボタンを押してください。表示が『00:00』になり、風量表示に切り替われば解除完了です。



お手入れの方法

警告

安全のため、お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
また、感電や不意の作動によるけがを防ぐため、濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。

■ 本体のお手入れ方法

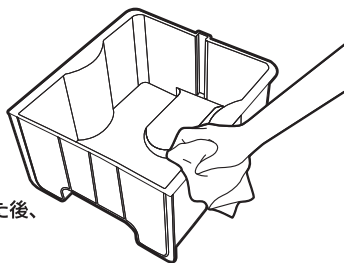
- お手入れの際は、本体を水に浸したり、水をかけたりしないでください。
ショート・感電・故障の原因になります。
 - 本体の汚れは、やわらかい布で乾拭きしてください。
汚れがひどい場合は、ぬるま湯または中性洗剤を含ませた布で拭き取り、最後に乾いた布で仕上げてください。
 - 週に1回程度、吹出口のほこりを掃除機のブラシなどで吸い取ってください。
 - シンナー・ベンジン・アルコール・研磨剤・たわし類は使用しないでください。
塗装面や樹脂部品の変色・変質・傷の原因になります。
 - 化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたりしないでください。
表面の変質や塗装はがれの原因になります。。
 - 電源プラグとコンセントの間のほこりや水分は、定期的に拭き取ってください。
プラグを抜き、乾いた布で清掃してください。
- ※長期間の放置は、トラッキング現象による火災の原因となり大変危険です。

■ 給水タンクのお手入れ方法

定期的に給水タンクの水を交換してください。

- ・カビやにおいの原因になります。
- ・月に1回程度、給水タンクを清掃してください。

- ① 給水タンクをP9「排水について」を参考に本体から取り出し、排水してください。
- ② 排水後、流水できれいに洗浄し、柔らかい布で十分に拭いた後、風通しの良い場所でよく乾燥させてください。



■ 吸い上げポンプのお手入れ方法

スポンジや綿棒などで吸い上げポンプのぬめりや水アカをきれいに拭き取ってください。

注意

- タンク内の水を放置しないでください。カビやにおいの原因になります。
水質の劣化を防ぐため、水は毎日新しい水道水に交換してください。
- 2日以上使用しない場合は、水を抜き、各部を十分に乾燥させてください。
タンク底やフィルターまで完全に乾かしてから保管してください。

保管について

■ 保管のしかた

本体を保管する上での注意

- 長期間使用しない場合は、給水タンクの水を必ず捨て、本体内部のフィルターなどが十分に乾燥していることを確認してから保管してください。
- 冷風運転後に保管する場合は、1時間以上送風運転を行い、本体内部をしっかりと乾燥させてください。
- フィルターにほこりが付着している場合は、掃除機などで吸い取ってください。
- 本体を袋に入れ、梱包資材またはお手持ちの箱に収納し、湿気のない場所に保管してください。

保冷剤タンクを保管する上で注意

- 保冷剤タンク内の粉末(冷却剤)や水は廃棄しないでください。
- 冷凍室で保冷剤タンクを継続保管しないでください。膨張して破裂する原因になります。
- お子様の手の届かない場所に保管してください。
- 保冷剤タンクのキャップを確実に締め、直射日光の当たらない湿気の少ない場所に保管してください。

■ 製品や保冷剤タンクの廃棄

- 各地方自治体のルールに従って、製品および保冷剤タンクを廃棄してください。

故障かな?と思ったら

⚠ 警告 お客様ご自身での修理、改造は絶対にしないでください。

ご使用中に不具合や異常を感じた際は、修理依頼される前に本書をよくお読みいただき、以下の項目をご確認ください。

症状	考えられる原因	対処方法
運転をしない	<ul style="list-style-type: none">●『入/切』ボタンを押していない。	<ul style="list-style-type: none">●本体またはリモコンの『入/切』ボタンを押して運転を開始してください。
運転が停止した	<ul style="list-style-type: none">●切タイマーを設定している。	<ul style="list-style-type: none">●切タイマーを設定すると、設定時間になると自動的に運転が停止します。切タイマーの設定を解除するか設定を変更してください。
リモコンで動作しない	<ul style="list-style-type: none">●電池が消耗している。●電池の入れかた(+/-)を間違えている。●リモコン送信部を本体の受信部に向けていない。または、本体の受信部とリモコン送信部の間に障害物がある。●本体とリモコンとの距離が離れている。●本体の受信部やリモコンの送信部にほこりが溜まっている、汚れている。	<ul style="list-style-type: none">●新しい電池に交換してください。●正しい向き(+/-)で電池を入れてください。●リモコン送信部を本体の受信部に向け、障害物を取り除いて操作してください。●リモコンの操作距離は直線で約3mです。操作位置または本体の設置場所を調整してください。●本体受信部とリモコン送信部のお手入れをしてください。
冷風が出ない	<ul style="list-style-type: none">●給水タンクの水が足りない。●給水タンクの水が冷えていない。	<ul style="list-style-type: none">●給水タンクの水量を適切な状態に保ってください。●保冷剤タンクを併用する場合は給水タンクに入れてください。
温風が出ない	<ul style="list-style-type: none">●本体の温度が上昇し、安全装置が作動している。	<ul style="list-style-type: none">●本体の温度が冷めてからご使用ください。
悪臭がする	<ul style="list-style-type: none">●フィルターや送風口、吸気口、給水タンクなどが汚れている。	<ul style="list-style-type: none">●フィルターや送風口、吸気口、給水タンクのお手入れをしてください。
水が漏れる	<ul style="list-style-type: none">●傾いた状態で本体を設置している。●傾いた状態で本体が移動した。●給水タンク内の水量が多すぎる。	<ul style="list-style-type: none">●安定した水平な場所に設置してください。●本体を移動する際は、傾かないよう注意して慎重に移動してください。●給水タンクの水を適切な状態に保ってください。

上記の内容をご確認いただいても解決できない場合は、
お買い上げの販売店までお問い合わせください。

製品仕様

品名	COOL & HOT 温冷風扇
型番	AW-CH153
本体サイズ	約 W226 × D185 × H697(mm) [キヤスター含まず] [コード含む]
本体重量	約 4.2(kg) [キヤスター] [コード含む]
主な材質	PP
電源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	1000W
風量	送風3段階/冷風3段階/温風3段階
電源コード長さ	約 140(cm)
タンク容量	約 1500(mL)
保冷剤タンク	保冷持続時間は約6時間 ※使用状況により保冷時間は異なります。
安全装置	転倒時オートオフ機能
付属品	保冷材タンク2個、キヤスター4個、 専用リモコン、取扱説明書

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

■修理をご依頼いただく前に

修理を依頼される前に、本説明書の各項目に沿って点検をお願いします。

改善されない場合や異常がある際は、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店までご相談ください。

■保証期間内に故障が生じた際は、下記の保証規定に基づき、 無償修理または交換をさせていただきます。

※販売店印がない場合は無効となりますので、必ずその有無をご確認ください。

万一捺印がない際は、直ちにお買い上げの販売店へお申し出ください。

なお、レシートなど購入日を証明できるものを本保証書に貼付いただくことで代えることも可能です。

※販売店様へ

お買い上げ日、貴店の所在地・名称・電話番号をご記入・ご捺印のうえ、お客様へお渡しをお願いします。

※保証期間内に無償修理または交換を受けられる場合は、商品と本保証書をご持参のうえ、

お買い上げの販売店までご依頼いただくようお願いいたします。

MEMO